

国際シンポジウム

プレザンス・アフリケーヌ 研究

超域的

黒人

文化

運動の

歴史、記憶、現在



Colloque international PRÉSENCE

AFRICAIN

Vers de nouvelles perspectives politiques et culturelles
Identités, mémoires, résistances entre l'Afrique, l'Europe
et les Amériques de la colonisation à la post-colonie

日仏同時通訳つき
En français et en japonais avec
traduction simultanée

2017 10:30-17:00 10:00-17:30 10:00-17:00
8/22火 23水 24木

8/22 基調講演『プレザンス・アフリケーヌ』誌編集長R・フォンクア
Conférence inaugurale par le Pr. R. FONKOUA (rédacteur en chef de la Revue
Présence Africaine)

[問い合わせ先]

東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所佐久間寛研究室 (716)
東京都府中市朝日町 3-11-1

[Contacts]

Bureau 716, Institut de Recherches sur les Langues et les Cultures
d'Asie et d'Afrique
Université des Langues Étrangères de Tokyo, 3-11-1 Asahi-cho,
Fuchu-city, Tokyo 183-8534

TEL/FAX: 042-330-5676

e-mail : 2017aacw@gmail.com

URL : <http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/projects/jrp/jrp216>

[会場]

東京外国語大学
アゴラ・グローバル、プロメテウス・ホール
Université des Langues Étrangères de Tokyo (Japon)
Prometheus Hall, Agora Global

入場無料

※懇親会参加費 4,000 円 (要予約)

Entrée libre et gratuite

*Pour la soirée de Gala, inscription obligatoire par mail

[主催] 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(AA研)共同利用共同研究課題『プレザンス・アフリケーヌ』研究 新たな政治 = 文化学のために

[共催] 科学研究補助金基盤研究 (B)「世界文化〈資本〉空間の史的編成をめぐる総合的研究: アフリカ・カリブの文学を中心に」(17H02328), 挑戦的研究 (萌芽)「人類学的手法を取り入れた黒人文化総合誌『プレザンス・アフリケーヌ』の複合的研究」(17K18480), AA 研基幹研究「アジア・アフリカにおけるハザードに対する『在来知』の可能性の探究—人類学におけるマイクロ・マクロ系の連関2」

[Organisation] Projet de recherche de l'Institut de Recherches sur les Langues et les Cultures d'Asie et d'Afrique (ILCAA), Université des Langues Étrangères de Tokyo "Présence Africaine : Vers de nouvelles perspectives politiques et culturelles"

[Collaboration] KAKENHI-17H02328, 17K18480, Projet noyau par ILCAA "The Potential Value of Indigenous Knowledge in Managing Hazards in Asia and Africa: The Anthropological Explorations into the Linkage of Micro-Macro Perspectives 2"





プレザンス・アフリケーヌ

アフリカの現前は、ひとつの悔恨とひとつの希望の現前としてあらねばならない。

—ジャン＝ポール・サルトル

1947年のパリで公刊され、アフリカ・カリブの反植民地主義運動に影響を及ぼした黒人文化総合誌『プレザンス・アフリケーヌ』は、本年公刊70周年を迎える。文化論が政治意識に直結する植民地出身の知識人たちの議論には、世界がグローバリズムと排外主義の狭間で揺れる現在こそ、あらためて注目する価値がある。同誌現編集長フォンクアを筆頭とする世界8カ国21名の研究者が集い、文化と政治にあらたなヴィジョンを拓く。

[プログラム]

2017年8月22日 10:30-17:00 ※受付 9:30-

開会の辞と基調講演

ロミュアルド・フォンクア 「プレザンス・アフリケーヌ」誌編集長
『プレザンス・アフリケーヌ』：理念の歴史、行動する思想

第1部：群像

立花英裕 早稲田大学

「アリウヌ・ディオップとエメ・セゼール」

ファティマ・ドゥムビア フェリックス・ウフェ・ボワニ大学

「クワメ・ンクルマ：いまもなお現前する一個のアフリカ」

シェイク・チャム オハイオ州立大学

「アフリカ中心的ネグリチュード：21世紀において近代性に対するサンゴールとグリッサンの対抗文化論を再考する」

ジョルジュ・ベルトラン 独立研究者、フランス

「マルセル・グリオール、曖昧なアフリカ性：20世紀を生きた1人の男の思考の変遷」

モニカ・プロドニカ オハイオ州立大学

「アマドゥ・ハンバテ・バと在来形而上学への呼びかけ」

懇話会

2017年8月23日 10:00-17:30

第2部：言語と文学

中村隆之 大東文化大学

「文学、言語、政治：『国民詩』論争をめぐる争点」

廣田篤士 パリ第8大学博士課程

「脱植民地化への未完の対話：『プレザンス・アフリケーヌ』におけるエメ・セゼール/エドゥアール・グリッサン」

サリー・ステニエ アンティエユ大学博士課程

「Lang a pèp-la kont lang a mèt-la? : 教育表象におけるグアドループ的言語問題の反響」

ジョサナ・ナラシマン ムンバイ大学博士課程

「『プレザンス・アフリケーヌ』における女性の著述：ファトゥ・ジョムの思想革命」

[問い合わせ先]

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
佐久間寛研究室 (716)

TEL/FAX: 042-330-5676

e-mail: 2017aacw@gmail.com

詳細はウェブサイトにて

<http://www.aa.tufs.ac.jp/en/projects/jrp/jrp216>



[会場]

東京外国語大学アゴラ・グローバル、プロメテウス・ホール
東京都府中市朝日町 3-11-1

[アクセス]

◆JR中央線

「武蔵境」駅のりかえ、西武多摩川線「多磨」駅下車
徒歩5分(「R新宿」駅から約40分)

◆京王電鉄

「飛田給」駅北口より多磨駅行き京王バスにて約10分、
「東京外国語大学前」下車

松井裕史 金城学院大学

「私とはわれわれという他者である：ジョゼフ・ソベル『黒人小屋通り』」

第3部：芸術、メディア、受容

ロジェ・ソメ ストラスブール大学

「『プレザンス・アフリケーヌ』における黒人芸術 vs アフリカ芸術」

ファタ・マレラ マヨット大学

「雑誌空間における『プレザンス・アフリケーヌ』」

オベッド・ンクンズィマナ ニュー・ブランズウィック大学

「古傷を再考/治療する：映画『アダンガマン』と『アフランス』における奴隷制と植民地化のポスト植民地的再読」

ウジェーヌ・タヴァレス アッサン・セック大学

「『プレザンス・アフリケーヌ』とポルトガル語圏アフリカにおける意識覚醒のプロセス：カーボヴェルデの場合」

フランソワーズ・ノディオン コンコルディア大学

「アフリカの現前か不在か：1958年から1980年にかけてのル・モンド・ディプロマティークにおける『プレザンス・アフリケーヌ』誌の受容」

2017年8月24日 10:00-17:00

第4部：政治思想

小川了 東京外国語大学名誉教授

「Hosties Noires に至る道：B. ジャーニュ、W.E.B. デュボイス から L. セダール・サンゴールへ」

中尾沙季子 EHESS 博士課程

「パン・アフリカニズムかナショナリズムか：脱植民地期における文化政策形成の場としての『プレザンス・アフリケーヌ』」

ジョナス・ラノ ロレーヌ大学

「クレオリチュードとイデオロギー的奴隷逃亡：レオン・ゴントラン・ダマスをめぐる」

アンヌ・ピリウ アフリカ-世界学際ネットワーク会員

「1950年代フランス語圏における民族主義的知識人形成の回顧：場、時、人」

イブラヒム・ヤハヤ アブドゥ・ムムニ大学

「『プレザンス・アフリケーヌ』：継続する闘争」

総合討論と閉会の辞

日仏同時通訳付

入場無料

※懇親会参加希望者は2017年7月31日までに要予約

参加費 4,000円

予約先：2017aacw@gmail.com

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

